

天真寺門信徒会だより

2004年1月
Vol. 323

めでたきこと
新年明けましておめでとうございます。

「これ以上にめでたきことはないぞ。」とお示し下さることであります。

(住職)

●今月の法語カレンダー●

今まで 見えていなかった世界を
見せてくださる 「智慧の光」
東井 義雄 (1912~1991)

一月の法語は、東井義雄先生のお言葉です。先生は兵庫県の本派寺院に生まれられました。住職として、教師として活躍され、また詩人でもあり味わい深い詩をたくさん残されています。

この言葉は、「いのちとのふれあい」(探求社刊)の中に載っている「爐(もえさし)」の一文です。「もえさし」とは、老の荷であり、その荷を背負った人生を有難いと受け取ることが出来るのは、智慧の光がはたらいて下さるおかげです。そのとき今まで見えなかつた世界を見せて下さる、とそれはたらきを喜ばれ、そこに老苦を抱え生きる道があるといわれていて下さっている。なんと有難いことでしょう。

親鸞聖人のお手紙の中に、「明法御坊の御往生のこと・うれしく候」と言つておられるくだりがあります。又、和讃には無始流転の苦をきて無上涅槃を期すること

本年もどうぞよろしく
お願いいいたします。

土の素懐を遂げさせていただきました。その際、皆様から心暖まるお言葉と共に「ご愁傷様」と言われることであります。が、日頃の如来様のお育てにあります。私自身の立場で思うと淋しいという思いであります

多くの御門徒の方々が御多用の中を御焼香くださり、また御懇篤なる御弔意、過分なる御香資を賜りましたこと、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

一月の行事

二月の行事

天真寺

- 元旦会
1月1日(木)午後2時
初詣はお寺にお参り下さい。
- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましよう♪
- 婦人の集い(新年会)
1月10日(土)午前11時
仏教講座会
- 1月20日(火)午後1時半
講師 加戸利圓師(目黒区)
ヨーガ教室 各午後12時半
1月14日・28日(水)

- 仏教講座会
2月20日(金)午後1時半
講師 三崎靈証師(福井県)
○婦人の集い
2月10日(火)午後1時半
無量寿(ひのら)に
ききて
自己と知らされ
めざめて
釋正念
- 千葉組組連研
2月8日(日)
無量光(ひかり)を



親鸞聖人にお聞きしたならば
光明無量なるおさとりの座に参
らせていただいたことは本当に
「めでたきこと」といたたくこ
とであります。

恩徳まことに謝しがたし

と示され、生死の苦海を渡り、
光明無量なるおさとりの座に参
らせていただいたことは本当に
「めでたきこと」といたたくこ
とであります。



天真寺門信徒会だより

2004年
H2 Vol. 324

インド旅行記

天真寺若住職竜哉が、昨年龍谷大学の先生・学友らと共にインドへ行つてきました。その折りの旅行記をご紹介します。

● 今月の法語カレンダー ●

人生とは その日 その日の
法縁である
かねこだいえい
金子 大栄 (1881~1967)

二月の法語のことばは、金子大栄先生の『聞思室日記』(昭和五十年、在家仏教協会)に出ています。先生は、明治十四年新潟県高田市(現上越市)の最賢寺に生まれました。真宗大谷大学を卒業し、後に教授に着任、執筆、講演等々活躍されました。対話の日。客あり法を語る。問とは答となり答は問となる。それは幾度くりかえされても退屈しない。つねに新たな感覚があたえる。またそれはいかに浅くとも、そのままに深きに導かれるものである。人生とはその日その日の法縁である。法話を聞くことが聞法ですが、何か新しいこと、珍しいことを聞いたいと思つて聞くことではあります。「二つ事」をつねに初めて聞く尊い法であると心得ることが大切です。私たちの聞法の姿勢として心に留めておくべきことばですね。

二月の行事

三月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
- 一緒におつとめいたしましよう♪
- 仏教講座会
- 2月 20 日 (金) 午後1時半
- 講師 二崎靈証師 (福井県)
- 婦人の集い
- 2月 10 日 (火) 午後1時半
- 小さな可愛らしいおひな様を作ります。みなさんどうぞ♪
- 千葉組組連研 2月 8 日 (日)
- 午後二時半～五時

- ヨーガ教室 各午後12時半
- 3月 20 日 (土) 午後1時半
- 講師 和氣良晴師 (奈良県)
- 婦人の集い
- 3月 10 日 (水) 午後1時半
- お経勉強会の予定です。

皆さんのお参り
お待ちしています。



活動報告

★ 今年は寒さも厳しくなく、いい思議な感じがしました。日本でいうと縄文時代末期くらいになりますね。その時代の人の苦行地(正覚山)、誕生の地(ルンビニー)などなど今でも残り、多くの人々が世界中から絶え間なく訪れるのですから、お釈迦さまという人間を肌でひしひしと感じました。

僕たちが一番初めに訪れたのは、お釈迦さまが「阿弥陀経」を説かれたという祇園精舎でした。みんな初めての仏跡でドキドキしていました。

洋風の瞑想をしている人、タイの僧侶の集団などたくさんの人たちが来ていました。僕たちもそこで阿弥陀経を読みました。阿弥陀経は、舍利弗(お釈迦さまの十大弟子の一人)に向かって説いた經典ですが、「舍利弗」と何度も呼びかけているところを行つて来ました。お釈迦さまが歩かれた道を辿るという、25日間の長い旅でした。お釈迦さま誕生の地ルンビニー(ネパール)から涅槃の地クシナガルまで八大仏跡をほとんど回りました。

お釈迦さまが誕生されたのは紀元前500年頃ですから、それから2500年後に同じ道を僕が歩いている・・・とても不思議な感じがしました。日本でいうと縄文時代末期くらいになりますね。その時代の人の苦行は、もうすっかり忘れていました。朝に宿泊したホテルのお湯が出なかつたということは、もうすっかり忘れていました。

（続）

★ 今年は寒さも厳しくなく、いいお天気のお正月となりましたね。みなさんのように過ごされましたか。天真寺元旦会では六十名ほどのご参拝のご門徒さんと共に、お念仏を味あわせていただきました。法要後は流杯の儀を行い、みなさんでおせちをいただきました。

★ 1月の仏教講座会後には、鏡開きでお汁粉のふるまいがありました。また夕方からは、門信徒会・婦人会の役員の方々の合同懇親会が行われました。

天真寺門信徒会だより

2004
H16月
3 Vol. 325

● 今月の法語カレンダー ●

仏光のもとに われかしこしの
慢心が碎かれ 卑屈の心も洗われる
花田 正夫 (1904~1987)

三月のことばは、花田正夫先生の著『生死巖頭を照らす光』(樹心社)からとられています。先生は明治三十七年(1904)岡山生。医大時代、親友の死にあい、医学ではどうにもならない生死の問題に悩んで中退。その後伯父に手渡された『歎異抄』を通して、生涯の師と出会い、その教えに帰依されました。

光る 光る すべては光る

みずから光らないものは
他から 光を受けて光る

心して仏さまの願いの起こりを仰がせていただき時、そこに仏さまの眼に写る私の姿が知らされます。私たちは、仏さまの光明に照らし出された自身の愚かさを知つて、そのままに仏さまの光明を仰いで淨土への道を歩ませていただきましょう。

三月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましよう♪
- 春の彼岸法要

3月 20 日 (土)
午後1時半
講師 和氣良晴師 (奈良県)
講題 「ほんものとにせもの」

婦人の集い

3月 10 日 (水) 午後1時半
若住職によるお経勉強会

- 仏教婦人一日研修会

3月 1日 (月) 於築地本願寺
* 9時松戸駅に集合です。

四月の行事

- ヨーガ教室 各午後12時半
田代美代子氏 (シャンソン歌手)
松倉悦郎氏 (元アナウンサー)

3月 3日・24日 (水)

○ 仏教講座会

4月 20 日 (火)
午後1時半
講師 七里順量師 (埼玉県)

- 婦人の集い

4月 14 日 (水)
本願寺派布教使
龍谷大学講師
和氣良晴師
奈良県圓光寺住職
春分の日

春季彼岸会のお知らせ

日時 3月 20日 (土)
春分の日

時間 午後一時半より

講師 和氣良晴師
わけよしはる

本願寺派布教使
奈良県圓光寺住職
龍谷大学講師

講題 「ほんものとにせもの」

お彼岸とは年二回、春分と秋分の日をはさんで、前後三日間をいいます。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉もあるように、この季節は過ごしやすい気候となるため、仏道修行に適した期間として、日本ではこの間に法会が設けられたのです。

お墓参りの期間ではなく、お彼岸の意味からいえば、何よりも今生きている“私”が仏法を聞かせていただきなければなりません。ぜひお寺の法要にお参りし、ご聴聞下さい。お待ちしています。



お経勉強会

3月 10日 (水) 婦人の集い

にて若住職がお経の勉強会をします。一人で何を読んだらい

いの? どういう節があるの? などなど。お経に関する興味・質問がある方、どうぞご参加下さい。

婦人会員以外の方、また男性の方でも大歓迎です。

連研参加者募集!

連研とは、個別寺院の門徒という枠組みにとらわれず、仏教の教えを多くの人に継続的に学んでいただく目的の連続研修会のことです。天真寺は千葉北ブロックの十ヶ寺に属し、それらのお寺を会所としています。

仏教を学び、共によろこびを分かち合える仲間を見つけてみませんか。

★ 開催時期 H16年6月～H18年5月の2年

★ 開催日 偶数月の第一日曜日 (計13回)
★ 時間 午後1時半～4時半

★ 講師 各寺住職

★ 参加費 7千円 (テキスト代込)
各寺院からの参加者は2～3名となっています。参加申込、また

関心・質問のある方、お寺までご連絡ください。

天眞寺門信徒会だより

2004年
H16月
Vol. 326

春季被岸法要にて

雨が降り、寒い日となりましたが、

百名以上のご門徒さんにお参りいたしましたが、

ただ、無事法要を勤修することができましたこと、ここにお礼申

し上げます。

法要後は、奈良より和氣良晴先生においていただき、「ほんものと

にせもの」という講題でお話いただきました。

だきました。ここで紹介します。

ウソで固めたニセモノが私たち

の周りにいっぱいです。周りだけ

ではなく、この私もニセモノなの

です。自分の都合次第でどちらに

もフラフラと付いていき、ひっくり

返ることのない真実には全く逆

なり返っています。ニセモノの

特徴は一言！ほんものそつくり、

ということです。ほんものそつく

りでなければニセモノではない、

ほんものそつくりだからまさか

やすい。ウソを見抜き、ニセモノをニセモノと気づかせる力

とはたらきは、真実のみが持ち得

ります。

佛法という「ほんもの」に遇う

こともなく、ニセモノを掴みながら、ほんものと思い込んで人生を

過ごすならば、ニセモノはウソが

ばれてどこかでひっくり返るのですから、「こんなはずじゃなかつた

語る』という書物の中の言葉です。私の「信じる」は頼りになりますか。答えは「いいえ」ですね。私の心は愚痴を言い、腹立ち、自分

中心でしか物事を考えることが出来ないです。その心を基準として判断しても、それが頼りになら

ないのは当たり前なのです。ところが「他力の信心」は違います。間違いがないという基準は仏さまの基準だからです。そして、その仏さまの願いは私を間違いなく救いとるという仰せなのですから、私はその仰せを聴聞のなかで受け止め続けていく、それが「他力の信心」ということなのでしょう。「ただ法を聞くという道しかない」という言葉は、その聴聞が私の生涯にわたるものであることを示して下さっているのです。

●今月の法語カレンダー●

他力の信心を 獲得するのは
ただ法を聞くという 道しかない
よしやま しょうかい
靈山 勝海 (1932~)

四月の行事

朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましよう♪

仏教講座会

4月20日(火)午後1時半
講師 七里順量師(埼玉県)

婦人の集い

4月10日(土)午前11時
婦人部総会。新しい方もどうぞ。

千葉組仏婦総会

4月14日(水)千葉県教育会館

ヨーロッパ教室 各午後12時半
4月14日・28日(水)

五月の行事

○門信徒総会・永代経法要

5月16日(日)
講師 吾勝常行師(和歌山県)

○婦人の集い

総会10時より 法要1時より
5月10日(月)12時より
お茶会を予定しています。

岩もあり木の根もあれど
ささらさらと
甲斐和里子
かわいわらわるる

活動報告

★ 3月の婦人の集いでは、お経の勉強会を行い、17名がご参加くださいました。『正信偈』『らいはいのうた』など、皆さんと大きな声で練習しました。
★ 千葉組組連研参加者募集中!
詳細は先月号をご覧下さい。申込4月20日までにお願いします。

天真寺門信徒会だより

2004年
H5 Vol. 327

永代経法要 門信徒会総会ご案内

日時 5月16日(日)

総会 午前11時より
法要 午後1時より

講師 吾勝常行師(和歌山県)
元龍谷大学助教授

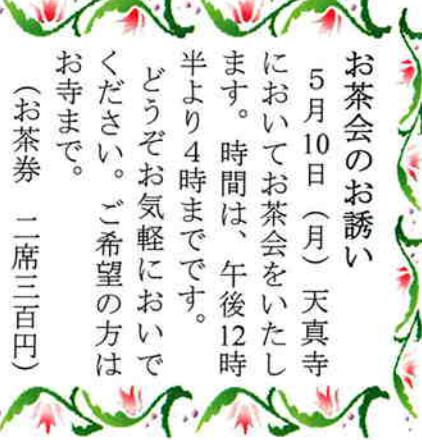
真宗カウンセリングの分野で
活躍している先生です。

講題

「心の叫びとよび声」

永代経つて?

「えいたいきよう」と読みます。これは“永代読経”的略



お茶会のお誘い

5月10日(月) 天真寺
においてお茶会をいたします。時間は、午後12時半より4時まで。
どうぞお気軽に問い合わせください。ご希望の方はお寺まで。

(お茶券 二席三百円)

総会を行います。天真寺は一戸一戸のご門徒さんの手によって支えられています。どうぞこちらにもご出席くださいますよう、お願ひ致します。

どうぞお参りください。
お待ちしています。

五月の行事

六月の行事



●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましよう♪

●永代経法要・門信徒総会
5月16日(日)
講師 吾勝常行師(和歌山県)

●門信徒総会 午前11時より
講師 吾勝常行師(和歌山県)
門信徒総会 午後1時より
●婦人の集い
5月10日(月) お茶会
午後12時半～4時まで

●仏婦みのり会一泊研修会
5月26(水)～27(木)

○千葉組連続研修会
6月13日(日) (日) 於法善寺
6月10日(木) 午後1時半
○アソカ園ボランティア
6月8日(火)

●今月の法語カレンダー●
私のあたまにつのがった
つきあたって折れてわかった
榎本 栄一(1903～1998)

今月のことばは、榎本栄一師の詩集『群生海』のなかにある「つの」という詩です。私の頭にある「つの」とは、一体何のことでしょう。「つの」は固い。「つの」は物を傷つける。「つの」と「つの」でケンカをする。私の心中にある、そんな「つの」でも私は、なかなかそんな「つの」が、あることを認めようとはしません。そんな固くて、そろそろ「つの」。でも私は、なかなかそんな「つの」が、鋭い、生半可なことでは折れない私の「つの」が、突き当たつて折れた。当たつた先は、仏さまの心。自分では見えない「つの」も、仏さまの心に触れ、見えてくるのです。

「つの」を抱えた私の心を、仏さまはいつでも見守つていてくださいます。日々のお念仏のなかに、仏さまの智慧の光をいただき、照らし出された私の姿をしっかりと受けとめていきたいものです。

①お寺が護持されること

②そこで子や孫が代々にわたってみ教えを聞き慶ぶことです。この二つが「永代経」の心です。

み教えを私に伝えてくださつたご先祖の遺徳を偲び、何より私自身が仏さまのお話を聞かせていただき、その慶びを子孫に伝えていく——これが「永代経」です。

【門信徒会員の方】
天真寺門信徒会に・・・
【入会まだの方】
新しくご縁のあつた方、どうぞこの機会にご入会下さい。

【門信徒会員の方】
会費の納入期限は5月末までです。ご協力をお願い致します。
引き続き、千葉組連続研修会にご参加くださる方を募集中です。申込期限は5月20日となります。
くわしくはお寺までお尋ね下さい。

天真寺門信徒会だより

2004
H 6月
Vol. 328

門信徒会・婦人会 合同旅行のお誘い

お願い

6月25日（金）～26日（土）
一泊二日で長野方面への門信徒会・婦人会合同旅行を計画しております。

● 今月の法語カレンダー ●
手に合わない 厄介な我の心を
如来の大きな御手に お渡しする
甲斐 和里子（1868～1962）

甲斐先生は、京都女子大学創設の中心的人物です。『往生ほどの一大事、凡夫の計らうべきにあらず、（略）が、愚痴凡夫の悲しさで、気味の悪いモヤモヤしたモノをいつまでも心の奥に秘蔵して、自分も苦しみ、如来さまをお泣かせ申すのである。が、さて、いつまでも苦しんでもどうにもならぬと解つたとき、はじめて「其のままでよいぜ」の御喚声をハツキリと心の耳に聞き取りえて「ハイ、それではお言葉に甘えてこのまま御渡し致します。あなたのござ随意に遊ばしてくださいませ」と我が手にあわぬ厄介な我が心を、如来様の大きな御手にポンと御渡しするという大革命を遂げた後は、父の所詮「誠にこちらは安心千万のことにて候」

今月はユーモア溢れる隨想『草かご』より、お人柄がうかがわれるそのままの文で紹介しました。

六月の行事

- 朝の日曜礼拝 每日曜朝7時半
一緒におつとめいたしましよう♪
- 仏教講座会

6月20日（日）午後1時半

講師 塚田博教師（大阪府）

小学校で宗教を教えていらっしゃいます。お話を楽しみですね！

● 門信徒会・婦人会合同旅行

6月25日（金）～26日（土）
アソカ園ボランティア
6月8日（火）6名お手伝い
新八柱駅改札十時半集合です。

お参り

お待ちしております



七月の行事

- 婦人の集い
6月10日（木）午後1時半
「念佛者一茶について」
- ヨーガ教室 各午後12時半

6月16日・30日（水）

講師 加戸利円師（東京都）

○ 佛教講座会
7月10日（木）午後1時半



（一茶の菩提寺
明専寺）

宗寺院康楽寺様を参拝し、ご住職の案内で貴重な宝物館を見せていただく予定です。宿泊は赤倉温泉となります。

この機会に天真寺を支えるご門徒さん同士の親睦を深め、楽しくのんびりと旅行致しましょう。

どうぞご都合をお合わせ下さい、ご参加下さい。多くの方のご参加をお待ちしております。

* 詳しくは同封の旅行案内をご覧下さい。お申し込みは6月10日までにお寺にお願い致します。

門信徒会より

先月ご門信徒の皆さまに会費納入のお願いを致しました。納

入がまだの方は今月中にお振り込み、またはお寺で受け付けしております。ご協力お願い致します。

婦人会より

本年度婦人会名簿を作成予定です。会費納入がまだの方、または新しくご入会の方、こちらも今月中にお願い致します。

活動報告

★ 5月16日（日）門信徒総会・永代經法要が無事勤まりました。

ご講師の吾勝先生の分かりやすいお話を皆さんと一緒にご聴聞させていただきました。

★ 5月10日（月）初めてのお茶会をいたしました。雨の中70名以上の方がおいでください、皆さんと楽しいひとときを過ごしました。



天真寺門信徒会だより

2004
H 16 月
Vol. 329

お盆の迎え方

一部の風習では、精霊棚を作ったり、お膳やお団子をお供えするようです。

また、ナスやキュウリを牛と馬に見立てます。これは先祖の靈が乗るための乗り物だそうです。また送り火・迎え火もよく聞きますね。

私ども浄土真宗では、そういういたことは致しません。一般的の法要と同じように、菓子・果物といった供物をご仏前にお供えし、「打敷」（お仏壇の中の花瓶や香炉を置く前卓に敷く、三角形の布）を敷いて下さい。

そもそもお盆とは、仏弟子の目連尊者が餓鬼道に墜ちた亡き母を救おうと

して、その母に食物を与えるのですが、救われず、お釈迦さまの導きで衆僧に供養して初めて救われた（その日が七月十五日）――という故事から起つた行事です。すなわち、亡き母や特定のご先祖に供物を捧げるというのではなく、自らが深く仏法に帰依して、限りなき仏さまのおはたらきを仰いでゆく

――ということでしょう。

ですから、ご先祖が戻つてくる「日」があるわけではありません。ご先祖への感謝と、仏法を聞くことの大しさを忘れないようにと、先人たちがこのよううに伝えて下さったものなのです。

今年もお盆の時期が近づいて参りま

した。お盆法要をされる、何か分からぬことがあります。・・・等々、どうぞお寺に気軽に尋ねください。

お寺の臨海学校のご案内

7月3日(土) 森のホール
●鑑賞会のお誘い
・・・金子みすゞの世界
鑑賞予定です。金子みすゞさんは山口のご法義厚いご家庭に生まれ、信仰堪能致しましょう。
(7月婦人の集い振替)
門信徒会の方もどうぞ。
くわしくはお寺まで。

●お寺の臨海学校のご案内
7月3日(土) 森のホール
●鑑賞会のお誘い
・・・金子みすゞの世界
鑑賞予定です。金子みすゞさんは山口のご法義厚いご家庭に生まれ、信仰

心深いのちをうたいつけられた童謡詩人です。

皆さんでみすゞの世界を堪能致しましょう。
(7月婦人の集い振替)
門信徒会の方もどうぞ。
くわしくはお寺まで。

七月の行事

八月の行事

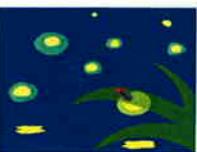
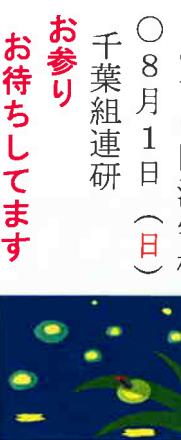
- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
- 一緒におつとめいたしましよう♪
- 仏教講座会
- ヨーガ教室 各午後12時半
- 孟蘭盆会法要
- 鑑賞会 (婦人の集い振替)
- 講師 加戸利円師 (東京)
- 鑑賞会 (婦人の集い振替)
- 7月20日(火) 午後1時半
- 7月3日(土) 森のホール
「金子みすゞの世界」
- 会場に4時半待ち合わせです。
- 西本願寺公開講座
- 7月10日(土) 午後3時
於・築地本願 一悪人正機

●今月の法語カレンダー●

念仏の道は 如来の開かせたまえる
人間の道である
池山 栄吉 (1873~1938)

今月は池山氏の著『意訳歎異抄』のことばです。『歎異抄』は、近頃流行の「声に出して読んでみたい日本語」の中でも、トップクラスの名文です。氏は瀧に満ちた人生を生き、やがて『歎異抄』に傾倒、四十二歳に至つて、この書によつて信心を開発されました。そして生涯、念仏三昧を生きられた方です。

親鸞聖人のお示しによると、呪文やおまじないでもなく、また救いの条件でもない。お念仏は私を往生させようと、休むことない阿弥陀さまのはたらきが私の口に現われてくださったのものなのです。念仏の道は私のおもいつきで、私が開いた道ではなく、その道は「如来の開かせたまえる道」なのです。「ただ念仏して」と呼びかけられる道、ひたすら淨土にむかつている尊い道の教えへの、池山氏の深い感動がうかがえることばですね。



- お参り
お待ちしております
- 8月16日(月) 午後1時半
●孟蘭盆会法要
●講師 京都中央仏教学院長 北畠晃融師 (大阪)
- 8月18日(水) ~ 20日(金)
●お寺の臨海学校 千葉組連研
●参加対象者 小3~中3
●宿泊場所
●参加費 1万円
●(現地までの交通費含まず)
●申込締め切り日 7月31日
●申込はお寺までお願いします。
- 参加対象者 小3~中3
●宿泊場所
●参加費 1万円
●(現地までの交通費含まず)
●申込締め切り日 7月31日
●申込はお寺までお願いします。

天真寺門信徒会だより

2004年8月
Vol.330

盂蘭盆会法要 ご案内



日時 8月16日（月） 時間 午後1時半より

講師

京都中央仏教学院長
北畠晃融師（大阪府）

● 今月の法語カレンダー ●
生きている、という事は
決して 私の力ではないのだ
高松 信英（1934～）

「いのちはなぜ尊いのか」、高松信英氏は、書著『雑草の輝き—歎異抄に学ぶ—』（東本願寺出版部）の中で簡明に述べておられます。「生きている、という事は決して私の力ではないのだ」と。今、私がここに生きている事実を考へても、自分一人の力で生きているものは、ただの一人もないのです。

お釈迦様は、一切の存在・現象は、全て直接の原因と数多くの間接の原因が、お互いに作用し合って、全ての存在があり、全ての現象が起る、「縁起の理」を説かれました。ここから生かされて生きるいのちだから尊いのであると教えていただくのです。

こうして私自身のいのちの尊さに目覚めたとき、初めて他の生きとし生けるものの尊いのちを生きていることに気づかせていただく。そこにいのちの共感が生まれてくるのではないでしようか。

今年もお盆の季節となりました。暑い日が続いていますが、みなさんはどのように過ごされますか。

恩に報いる、という報恩の想

いはインドの原語に語源をたどると、「なされたことを知る」という意味だそうです。「おかげさま」ということばがあるように、お盆のさまざまな仏事を通して、見えないところでいろいろと支えもらつていてることに、気づかせていただぐのですね。

お盆をご縁として、ご先祖をうやまい、ご先祖がよろこんでござれたお念佛のいわれを聞かせていただきましょう。浄土真宗のお盆法要は「歡喜会」とよび、私たちがみ教えに遇うよろこびの集いです。

どうぞご家族そろつてお寺で

ご聴聞ください。みなさんのお

参りお待ちしております。

門信徒会入会のご案内

天真寺は門信徒会を組織し、多くの方々によって支えられています。

お盆などの年五大法要、毎月の仏教講座会、婦人の集いなど、さまざま活動をしております。これらの活動にご協力・ご参加下さいますよう、門信徒会への入会をお願いしております。

入会がまだの方、どうぞお盆法要の日にお申し込み下さい。年会費は3千円、毎月仏教冊子・法要案内の寺報等お送りします。

京都念佛奉仕団のお説い

（北陸めぐり・法承1300年の名旅館「法師」に泊まる旅）

日程 10月27日（水）～29日（金）

旅行方面 京都・北陸方面

宿泊 粟津温泉（石川県）

代金 お一人66,800円

締め切り日 8月31日（火）

お寺に案内があります。そちら

をご覧になり、くわしくはお尋ねください。多くの方のご参加をお待ちしております。

* お盆法要の日は駐車場が混雑します。ご協力お願い致します。

花を見る

花も見ている（浅井成海）

八月の行事

● 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時

一緒におつとめいたしましよう♪

● 盂蘭盆会法要

8月16日（月）午後1時半

講師 京都中央仏教学院長

北畠晃融師（大阪）

● お寺の臨海学校（茨城県）

8月18日（水）～20日（金）

● 千葉組連続研修会

8月1日（日）於正満寺（柏）

● ヨーガ教室

今月はお休みです。

九月の行事

○ 秋季彼岸法要

9月23日（木）秋分の日

講師 松林宗恵師（映画監督）

○ 千葉組仏教婦人

みのり会研修会

9月13日（金）於築地

（9月婦人の集い振替）

○ 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

9月18日（土）於国立墓苑

天真寺門信徒会だより

2004年9月
Vol.331

秋季彼岸法要ご案内

日時 9月23日(木) 秋分の日

時間 午後1時半より
講師 松林宗恵師(映画監督)

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉もあるように、この季節では過ごしやすい季節です。そんな理由から、仏道修行に適した期間として、日本の仏教ではこの間に法会が設けられました。

しかし宗祖親鸞聖人は、何十

年修行をしても自身の煩惱(私たちの持つ欲ばかり心・怒る心・妬み心)にさえぎられ、善を積んでも、自分で良いことをした

というとらわれ心(名利)により、偽りの善しか積めない。煩惱に縛られた私が、そんな私をまま救われていくのは阿弥陀さまのご本願であるとお教え下さいました。

お彼岸にあたり日頃の自分の生活を省み、私が私のまま救われるしていくみ教えを家族揃ってお聴聞させて頂きました。

★ 天真寺婦人部では、年に2回、錦糸町の老人ホーム「アソカ園」にボランティアに伺っています。限られた人数になりますが、ご協力下さる方、来月のお手伝いをお願い致します。

★お庭の剪定をしていただき、さっぱりきれいになりました。

● 今月の法語カレンダー ●

自力の念仏そのまんま

他力とわかる時がくる
木村 無相(1904~1984)

今月の言葉は『木村無相師法談』(法藏館)より。私が「南無阿弥陀仏」と仏さまの前で手を合わせる。亡くなつたおじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、ご主人、奥さん、お子さん……。それぞれが、それぞれのご縁によつてお参りさせていただきます。

ふと、仏様の前で手を合わせていると、「いのちがあるのは当然ではないよ」「一日一日を感謝して大切に」「目には見えなくても、多くのもののおかげで生かされているんだよ」と生き方々のメッセージが聞こえきませんか。そこで出るお念仏は、決して自分の力ではありません。今までご縁のあつた多くの人々の導きに出遇う、自分を超えた力強い、大きなはたらきに出遇う、それを「他力」というのです。

● 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましよう♪
● 秋季彼岸法要
9月23日(木) 秋分の日
法要 午後1時半より
講師 松林宗恵師(映画監督)

● 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
9月18日(土) 於 国立墓苑
法要 午後1半より
● ヨーガ教室
9月8・22(水) 各12寺半

● 千葉組仏婦みのり会研修会
9月13日(金) 於 築地
*10時半に松戸改札前売店集合。
皆さんでお食事をしてからお参りします。直接行かれる方は、1時に築地へ:(婦人の集い振替)

○ 千葉組念佛奉仕団
10月12日(火)
10月27日(水)~29日(金)

● 九月の行事
● 九月の行事

● 九月の行事
● 九月の行事

○ 千葉組念佛奉仕団
10月12日(火)
10月27日(水)~29日(金)

講師紹介 松林宗恵師

1920年、島根県邑智郡桜江町の福泉寺(浄土真宗本願寺派)に生まれる。京都

芸術学部へ入学。在学中に東宝に入社。44年学徒出陣、海軍砲術学校を卒業し少尉に任

官。終戦後、東宝に復帰。52年監督となる。

代表作「人間魚雷回天」「連合艦隊」などの戦記もののほか、「社長シリーズ」を多く手がけられました。今年3月ふるさとに「松林宗恵映画記念館」が誕生しました。

★ 孟蘭盆会法要には、暑いなか多くの方がお参り下さいました。お預かりした「盆名簿」は来年までお供えさせていただきます。

活動報告



天真寺門信徒会だより

2004年10月
Vol. 332

仏教講座会へのお誘い



お寺は何をするところでしょ
うか？葬儀や法事をするだけの
ところ、と思つてはいませんか。
お寺はなによりもまず、仏教
のお話を聞かせていただく（お
聴聞する）ところです。

「自分のことは自分が一番分
かっている」と言いながら、本

当は何も分かっていない私たち
に、心の鏡を与えてくれるもの、
それが仏法です。仏法は亡き方
のためのものではありません。私た
ちが仏法を聞かせていただき、私
自身の生き方を問い合わせていく
のです。

亡き方のご縁を導きとして、私
が仏法を聞かせていただき、私
自身の生き方を問い合わせていく
のです。

天真寺では、毎月二十日（年

五大法要以外）午後一時半より

「仏教講座会」を開いておりま

す。全国から先生方をお呼びし
て、ご門徒の皆さんでお聴聞し
ています。初めての方もお気軽
に。持ち物はお念珠と式章です。
(持つていらない方はご相談下さい)
どうぞ皆さんお参り下さい。お

待ちしております。

聞法は生涯をかけて
私が受けなければならぬ
命日を縁として當まれる法要)

（米沢英雄）

活動報告

★秋分の日、穏やかなお天気に

恵まれ、「秋季彼岸会」が無事開
催されました。約百三十名のご門
徒さんがお参り下さいました。

さり、皆組仏婦「みのり会」



★9月13日、築地本願寺で行わ
れた千葉

に、天眞寺より十
六名が参加しました。



*お位牌をお持ちの方へ

淨土真宗ではお位牌を用いま
せん。そのかわりに「過去帳」
というものがあります。過去帳
に故人の法名・俗名・命日・享
年・続柄などを書いて用います。
お位牌を処分される方、またご
相談はどうぞお寺まで。

十月の行事

●今月の法語カレンダー●
失敗はむしろ自分を知るために
必要な材料である
平沢 興 (1900~1989)

先日亡くなつた水上勉さんの隨筆の中の話だそうです。末娘の直子さんはご病氣でうまく歩行することができません。奥様からの一通の手紙です。昨日、直子と一緒に歩く練習をしていたら、直子の靴の中に小さな石が入りました。直子が痛いと言いました。そこで、今日から下半身麻酔で痛みを感じる感覺がない直子が、何とか痛感をよびもどしてくれるように期待しながら、靴に小石を入れています。水上さんは手紙を紹介して次のように言われます。この世に捨てられていいものはひとつもない。たとえ、それが小石のようなものであつても、その小石に希望をつないで歩く練習をしている親子がいる。その小石はダイヤモンドと同じ価値がある。この世に捨てられていいものはひとつもない。

失敗も、小石も、捨てずに大切にして生きていく。すべてのものが輝きあつてあることに気づかせていいただく、仏教の大事な心を教えて下さることばです。

十一月の行事

- 朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
- 一緒におつとめいたしましよう♪
- 仏教講座会 10月20日（水）
講師 小村賢昭師（大阪）
- 千葉組連続研修会
- 10月10日（日）午後1時半
於 中原寺（市川）
- アソカ園ボランティア
10月12日（火）
- *10時半に新八柱駅改札口で待ち合われます。お手伝い下さる方よろしくお願ひ致します。
- 11月11日～16日 築地報恩講婦人会参拝
- 11月23日（火）勤労感謝の日 ◇報恩講（宗祖親鸞聖人のご命日を縁として當まれる法要）
- 11月6日（土）おみがき（お寺の大掃除）

天真寺門信徒会だより

2004
H 16 月
11 Vol. 333

報恩講・入門式

（日時）11月23日（火）
勤労感謝の日

（時間）
門信徒会入門式 11時～
（入門式後、お斎みがき）を実施します。

ミ二雅楽演奏会（法要前）
報恩講法要 1時～3時

波邊普相師（東京都）
本願寺派布教使

淨土真宗の宗祖である親鸞聖人のご命日を縁として當まれる法要

のことを、報恩講といいます。

親鸞聖人は九十年の生涯をかけ

て、真の人間らしい生き方、喜び

のある人生を示して下さいまし

た。そのご苦労を偲び、そのご恩

に感謝する集いが報恩講です。

一年でもっとも重要なご法要

で、大切な仏縁になります。どう

ぞご家族揃って、またお近くの方

と声をかけ合つて、皆さんでお参

り下さい。お待ちしております。

*「門信徒会入門式」について
本年度門信徒会に入会下さった方、まだ受式されていない方など
うぞご参加ください。式章を贈呈致します。この機会に天真寺門信徒会へのご入会も受け付けております。

「おみがき」ご参加のお願い
ご案内の通り11時～

月6日（土）10時から3時まで「おみがき」を実施します。

月23日に勤修されます。厳かな法要を修行致したく、皆さまのご協力をお願い致します。

当日は、内陣の仏具みがき・本堂内のすす払い・お寺の清掃等を致します。皆さまのお手伝いをお待ちしております。

●●たすけあい運動募金●●
1、募金の名称
「台風23号・新潟県中越地震災害義援金」

2、受付口座番号
01000469957
加入者名
「たすけあい募金」

※通信欄に「台風23号・新潟県中越地震災害義援金」と記入。

3、問い合わせ先
〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下る
門前町 TEL 075-371-5181 (代表)

浄土真宗本願寺派宗務所
伝道社会部

また、まだ受式されていない方など
うぞご参加ください。式章を贈呈致します。この機会に天真寺門信徒会へのご入会も受け付けております。

ご協力下さる方、よろしくお願い致します。ご不明な点は、お寺まで。

十一月の行事

11月23日（火）勤労感謝の日

【門信徒会入門式】11時～

ミ二雅楽演奏会（法要前）

【報恩講法要】1時～3時
講師 渡邊普相師（東京都）

十二月の行事

○仏教講座会

12月20日（月）

○婦人の集い

12月8日（水）

成道会布教大会



(去年の雅楽演奏会)

報恩講・入門式

11月23日（火）勤労感謝の日

【門信徒会入門式】11時～

ミ二雅楽演奏会（法要前）

【報恩講法要】1時～3時
講師 渡邊普相師（東京都）

●朝の日曜礼拝 毎日曜朝7時
一緒におつとめいたしましよう♪

●おみがき（お寺の大掃除）

日時 11月6日（土）

時間 午前10時～午後3時

*昼食はお寺で準備します。

十一月の行事

●婦人の集い 11月13日（土）

築地本願寺報恩講参拝
*ご参加の方は、9時半に松戸駅売店前で待ち合わせです。
(11月11日～16日 築地法要日)

●ヨーガ教室

11／10・24（水）各12寺半

●今月の法語カレンダー●
かけがえのない 自分の人生を
そのまま受け取れない 自分がいる
にかいどうゆきくに
二階堂 行邦（1930～）

『弘説無量寿經』（大經）には、
私せむれ淨土真宗で、拠りどころとする經典
「弘説無量寿經」（大經）には、
極くされ極り死し、
て苦樂の地に至り趣く。身みづからこれを当くる
に、代るものあることなし。
このように、人間存在が説かれていて、どんなに頼んでも誰にも代わってもらえない私の人生です。
また、どんなに大事な人でも、その人生を私が代わつてあげることができません。私一人だけの二度とない人生です。この私自身の人生をまるごと受け入れることができるのは阿弥陀さまのご本願だけだ、
いうのがこのことばの伝える世界です。

掲載の「憑むは満つるなり」に出てくる、二階堂行邦先生のことばです。
『弘説無量寿經』（大經）には、
私せむれ淨土真宗で、拠りどころとする經典
「弘説無量寿經」（大經）には、
極くされ極り死し、
て苦樂の地に至り趣く。身みづからこれを当くる
に、代るものあることなし。

今日は、真宗大谷派（東本願寺）の機關誌『桐樹』に掲載の「憑むは満つるなり」に出てくる、二階堂行邦先生のことばです。
掲載の「憑むは満つるなり」に出てくる、二階堂行邦先生のことばです。

掲載の「憑むは満つるなり」に出てくる、二階堂行邦先生のことばです。

天真寺門信徒会だより

2004
H 16 月
12 Vol. 334

「念佛奉仕団に参加して」（住職）
10月27日～29日、天真寺より6名で、ご本山（京都西本願寺）

念佛奉仕団に参加致しました。内容は、西本願寺内の清掃奉仕、

ご法話を聞いたり、国宝「虎の間」でのお抹茶接待、京都三閣

の一つでもある「飛雲閣」（西本

願寺内）の見学等です。28日の

お晨朝後には、参加者の武安洋子さん、新田君子さんのお二人

が、新門様より「帰敬式」（おかみそり）を受けられました。

その後、福井県鯖江市にある、

真宗十派の一つ、真宗誠照寺派の本山・誠照寺を参拝、そして

“一度は泊まりたい名旅館”といわれる栗津温泉「法師」に宿泊し、宴会では皆さんとの交流

を楽しみました。最終日は九谷焼の窯元、永平寺、吉崎御坊（ご

法話がまるで漫才のようで楽し

かつたなア！」を巡り、小松空港より帰途に着きました。

念佛奉仕団の旅行は、旅行会社の旅行と違い、み教えを聞いたり、触れたり、また、千葉県

内他の寺院の門徒さんとの出会いも楽しみである。来年は是非ご参加下さい。

●婦人の集い 12月8日（水）成道会・布教大会（築地本願寺）
*ご参加の方は、9時半に松戸駅売店前で待ち合わせです。（婦人部に限らず参加は自由です。）

●朝の日曜礼拝 每日曜朝7時 一緒におつとめいたしましよう♪

●天眞寺衆徒による法話 「皆勤賞」「精勤賞」表彰式 法要後、忘年会です。

十二月の行事

12月20日（月）午後一時半 天眞寺衆徒による法話

●宗教講座会 12月12日（日）午後1時 会所・天眞寺

●ヨーガ教室

12／8・22（水）各12時半

平成十七年一月の行事

○宗教講座会 1月1日（土）

○元旦会 午後2時

○宗教講座会 1月20日（木）

講師 加戸利円師（東京都）

○婦人の集い 1月10日（火）新年会

（婦人部に限らず参加は自由です。）

●今月の法語カレンダー●

私どもが 自力と考えていること
全体が 他力の中にある
本多 弘之（1938～）

なむあみだぶつ
まよいかさねた
いまはあなたの
いまはあなたの
ああうれしや
なむあみだぶつ
わたくしが
いまはあなたの
お手にあげられ
わたしや
六字のなかに
お念仏をよろこばれた浅原才一さんの詩です。自分が、自分がと思つてゐるあいだには決して気づかない。自分を生かす大きなはたらきが「他力」なのです。お念仏は暗くもない、縁起悪くない、生かされて

いることに気づいたしるし、報恩感謝のことばです。

なむあみだぶつ
なむあみだぶつ
わたくしが
いまはあなたの
お手にあげられ
わたしや
六字のなかに
お念仏をよろこばれた浅原才一さんの詩です。自分が、自分がと思つてゐるあいだには決して気づかない。自分を生かす大きなはたらきが「他力」なのです。お念仏は暗くもない、縁起悪くない、生かされて

いることに気づいたしるし、報恩感謝のことばです。

名で、ご本山（京都西本願寺）念佛奉仕団に参加致しました。内容は、西本願寺内の清掃奉仕、ご法話を聞いたり、国宝「虎の間」でのお抹茶接待、京都三閣の一つでもある「飛雲閣」（西本

願寺内）の見学等です。28日のお晨朝後には、参加者の武安洋子さん、新田君子さんのお二人が、新門様より「帰敬式」（おかみそり）を受けられました。

その後、福井県鯖江市にある、

真宗十派の一つ、真宗誠照寺派の本山・誠照寺を参拝、そして

“一度は泊まりたい名旅館”といわれる栗津温泉「法師」に宿泊し、宴会では皆さんとの交流

を楽しみました。最終日は九谷焼の窯元、永平寺、吉崎御坊（ご

法話がまるで漫才のようで楽し

かつたなア！」を巡り、小松空港より帰途に着きました。

念佛奉仕団の旅行は、旅行会社の旅行と違い、み教えを聞いたり、触れたり、また、千葉県

内他の寺院の門徒さんとの出会いも楽しみである。来年は是非ご参加下さい。

【後記】 最近は、なるべく写真を載せていいます。なんとなくお顔が見えると、親しみがわきませんか。

今年も役員をはじめ、ご門徒様方のご協力により、年間のお寺の法要行事等が無事執りました。ここに感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年も皆さんのお参り、お待ちしております。



西本願寺にて



「入門式」受式の方々
天真寺の新しいお仲間です。

活動報告

★ 「おみがき」には29名のご門徒さんが参加、お手伝い下さいました。おかげで内陣・本堂・境内の1年分の塵や埃が落ち、ピカピカきれいなお寺になりました。皆様お疲れ様でございました。

●「おみがき」には29名のご門徒さんが参加、お手伝い下さいました。おかげで内陣・本堂・境内の1年分の塵や埃が落ち、ピカピカきれいなお寺になりました。皆様お疲れ様でございました。

●「おみがき」には29名のご門徒さんが参加、お手伝い下さいました。おかげで内陣・本堂・境内の1年分の塵や埃が落ち、ピカピカきれいなお寺になりました。皆様お疲れ様でございました。